

平成 2 5 年度 事業報告

社会福祉法人 博友会

目 次

・ 施設の概要	2
・ 社会福祉法人 博友会	3
・ 特別養護老人ホーム白雪	4
・ とらのこ保育園	14
・ 特別養護老人ホーム高砂	17
・ フジ高砂クリニック	22
・ 特別養護老人ホーム・高齢者住宅なでしこ	24
・ 特別養護老人ホーム・ケアハウスすずらん	30

施設の概要

法人名 社会福祉法人博友会

住 所 静岡県御殿場市川島田字南原270番地

第一種社会福祉事業 特別養護老人ホーム 白雪 (定員120名)
特別養護老人ホーム 高砂 (定員 80名)
特別養護老人ホーム なでしこ (定員 29名)
特別養護老人ホーム すずらん (定員150名)
ケアハウス すずらん (定員100名)

第二種社会福祉事業 短期入所生活介護 白雪 (定員20名)
デイサービスセンター 白雪 (定員30名)
デイサービスセンター 高砂 (定員15名)
短期入所生活介護 百寿 (定員44名)
とらのこ保育園 (定員90名)
地域子育て支援拠点事業 プチとらパーク
一時預かり保育
短期入所生活介護 すずらん (定員30名)
デイサービスセンター すずらん (定員30名)

公益事業 白雪居宅介護支援センター
高砂居宅介護支援センター
フジ高砂クリニック
サービス付高齢者向け住宅なでしこ

沿革

平成17年2月 法人設立認可
平成18年1月 特別養護老人ホーム 白雪 設置認可
平成18年2月 特別養護老人ホーム 白雪 開設
(定員：入所120名 ショートステイ20名 デイサービス15名)
平成19年4月 デイサービスセンター 白雪 定員30名に増員
6月 白雪居宅介護支援センター 開設
平成22年4月 とらのこ保育園 開設 (定員90名)
短期入所生活介護 百寿 開設 (定員44名)
平成23年5月 特別養護老人ホーム高砂 開設 (定員：入所80名 デイサービス15名)
高砂居宅介護支援センター 開設
フジ高砂クリニック 開設
平成24年5月 地域密着型特別養護老人ホームなでしこ 開設 (定員29名)
サービス付高齢者向け住宅なでしこ 開設 (定員52名)
平成24年9月 特別養護老人ホームすずらん 開設
(定員：入所150名 ショートステイ30名 デイサービス30名)
ケアハウスすずらん 開設 (定員100名)

法人事業報告

4 月 18 日	社会福祉法人監事監査研修会
5 月 24 日	監事監査 業務執行状況及び財産状況について監査実施 理事会・評議員会 議事 平成 24 年度事業報告について 平成 24 年度決算報告について 平成 25 年度補正予算について
9 月 21 日	理事会・評議員会 議事 新規事業・資金計画について すずらん食事委託業務について 法令遵守規程整備について すずらん指定基準の過誤請求について
11 月 28・29 日	社会福祉法人指導監査
11 月 29 日	業務管理体制の整備に関する届出内容の確認
3 月 1 日	理事会・評議員会 議事 平成 25 年度第二次補正予算について 平成 25 年度社会福祉法(第 56 条)指導監査の実施結果について 新規事業について
3 月 15 日	理事会・評議員会 議事 平成 26 年度事業計画について 平成 26 年度収支予算について 評議員の辞任・選任について 役員の辞任・選任について 定款変更について

特別養護老人ホーム白雪 事業報告

1. 利用者の状況

平成 26 年 3 月末現在

●特別養護老人ホーム(入所)白雪

介 護 度	1	2	3	4	5	合計	平均	入所待機状況(人)
御殿場・小山	12	24	23	20	10	89	3.0	91
裾 野	2	1	3	1	4	11	3.3	21
そ の 他	2	7	5	2	4	20	3.0	26
合 計	16	32	31	23	18	120	3.0	138

●短期入所生活介護(ショートステイ)白雪

介 護 度	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合計	平均
登録人数	1	1	10	12	15	10	2	51	2.8

●通所介護(デイサービス)白雪

介 護 度	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合計	平均
登録人数	6	8	28	22	12	4	12	92	1.8

●居宅介護支援センター白雪

介 護 度	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合計	平均
登録人数	0	0	64	38	32	28	8	170	2.3

●短期入所生活介護(ショートステイ)百寿

介 護 度	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合計	平均
登録人数	0	3	11	18	20	19	8	79	2.9

2. 利用者・家族との連携

利用者に快適な生活をしていただくために、利用者本人はもとより、利用者家族に施設へのご理解をいただき、また、率直なご意見をいただくため、日頃より家族とのコミュニケーションを図るよう努めた。

●家族会活動状況

6 月 30 日	施設周辺の草取りボランティア	施設周辺の草取りを職員と協同して行った。 参加人数 ご家族 29 名 職員 46 名
----------	----------------	---

●面会の状況

月	月延べ 件数	1日平均 件数	月	月延べ 件数	1日平均 件数
4	758	25	10	676	22
5	568	21	11	628	21
6	726	24	12	716	23
7	605	20	1	753	24
8	819	26	2	539	19
9	705	24	3	753	24
			平均	694.6	22.8

●家族宿泊室利用状況

月	人 数
	0
合計	0

3. 地域との交流・施設開放の取り組み

地域との交流を図る為、地域交流スペースの地域開放を積極的に行った。

8月に行った納涼祭では、地域住民にも参加を呼びかけ、地区役員、婦人会とともに利用者、家族が盆踊りなどを行い交流を深めた。

●地域交流スペース利用状況

月	内 容
5	24 日 日中友好協会総会、 25 日 すぎのこ大正琴演奏会
6	11・12 日 御殿場さつき盆栽会、 14 日 朝日小交流会
7	6 日 セタカラオケ大会
8	12 日 納涼祭、 20 日 樹の会日本舞踊、 29 日 ふじかわ健歌謡ショー
9	10 日 敬老会
10	12 日 アールグレイ演奏会、 17 日 衣類販売、 23～24 日 文化展
12	4 日 ふじかわ健歌謡ショー
1	11 日 アールグレイ演奏会、 28 日 善行会御殿場支部会
2	22 日 ふじかわ健歌謡ショー、 23 日 すぎのこ大正琴演奏会

※ 毎週火・木・金曜日 日本語教室

4. 情報公開の取り組み

玄関入口及び各階エレベーター付近に重要事項説明書の掲示を行っている。また、事業報告書、決算書、事業計画書、予算書をホームページに公開するとともに、受付にて回覧に供している。

5. 苦情解決の取り組み

玄関前及びデイルーム前にご意見箱を設置。

ご意見箱件数 平成 25 年度 6 件(内苦情 3 件)

- ・ご意見：「トイレにいきたい。」と頼んだら、「今ご飯の用意をしているので、終わったら。」といわれた。ぎりぎりまで我慢して要求するので、呼んだらできるだけ早く駆けつけてほしい。(利用者様より)

対 応：全体会議、リーダー会議にて、業務中の言葉使いや態度について話し合う。また、スピーチロックについても話し合った。

- ・ご意見：施設内の除雪体制はどうなっているのか。対応を早くしてほしい。
(利用者御家族様より2件)

対 応：2月16～18日で、職員および近隣から重機の協力を得て除雪を行った。積雪も含め防災について、グループ内で対策マニュアルを作成中。

6. 主な年間行事

本年度は外出する機会を増やすことや、地域参加型の行事計画に努めた。

月	行 事 内 容		
4	上旬 お花見鑑賞会		
6	1 日 バーベキュー	11・12 日 さつき展・お茶会	14 日 朝日小学校交流会
7	1～ 7 日 七夕	6 日 カラオケ大会	20 日 杉名沢区盆踊り交流
8	18 日 納涼祭		
9	10 日 敬老会	28 日 御殿場市ふれあい広場	
10	23・24 日 文化祭		
11	上旬 紅葉観賞	29 日 朝日小交流会	
12	20～22 日 クリスマス会	27 日 お餅つき	
1	1～20 日 初詣		
2	1 日 開設記念行事	5 日 朝日小学校交流会	

7. クラブ活動の状況

クラブ活動指導員(ボランティア)による様々なクラブ活動を定期的に行ってきた。すでに定番化し、活動日を楽しみにされている利用者も多い。

利用者に季節を感じていただけるよう、期間限定で季節性のあるクラブ活動も行った。

内 容	指導員数	年間回数	延べ参加人数
カ ラ オ ケ	3	107	946
体 操 教 室	1	43	1,293
映 画 鑑 賞	1	42	492
詩 吟 教 室	1	20	238
絵手紙教室	1	12	73
お 話 の 会	1	11	70
書 道	1	25	180

8. 会議開催の状況

●リーダー会議

開催時期：毎月第2月曜日

出席者：施設長、事務長、主任、ユニットリーダー、百寿、デイ、看護師、栄養課、
営繕、機能訓練指導員の各リーダー、相談員、居宅、事務員

開催日	主 な 議 題
4月8日	・リーダー業務について ・排せつパターン調査について ・超過勤務について ・タイムカードについて ・実習生受入れについて ・各部署連絡事項
5月13日	・排せつパターン調査について ・超過勤務について ・タイムカードについて ・各部署連絡事項
6月10日	・ご意見箱のご意見について ・排せつパターン調査について ・実習職場体験について ・緊急マニュアルについて ・介護福祉士試験対策について ・各部署連絡事項
7月8日	・言葉使いシートについて ・排せつパターン調査について ・利用者預り金について ・ベッドのコンセントについて ・実習について ・各部署連絡事項
9月9日	・排せつパターン調査について ・賞与ヒヤリング ・ケアプランについて ・実習について ・実地指導について ・カードックス使用について ・営繕への修理願いについて ・各部署連絡事項
10月15日	・排せつパターン調査について ・実地指導について ・カルテ整理について ・ユニット会議録について ・ケアダイアリーの変更について ・実習について ・衣類の訪問販売について ・各部署連絡事項
11月11日	・排せつパターン調査について ・実地指導報告 ・ユニット会議について ・衣類販売について ・各部署連絡事項
12月9日	・教養娯楽費の活用について ・ボランティアによる余暇活動について ・年末年始の理美容室使用状況について ・年始あいさつについて ・排せつパターン調査について ・各部署連絡事項
1月14日	・教養娯楽費の活用について ・施設職員実習受入について ・勤務体制について ・離接マニュアルの確認について ・排せつパターン調査について ・各部署連絡事項
2月10日	・自己評価票について ・新年度に向けての整理について ・排せつパターン調査について ・各部署連絡事項
3月11日	・自己評価票について ・新年度にあたり ・排せつパターン調査について ・ユニット配置について ・各部署連絡事項

●ユニット会議

開催時期：各ユニット月1回

出席者：各ユニット職員、主任、看護師、機能訓練指導員、生活相談員、栄養士

主な議題：利用者の状態について、他職種の意見も交え、統一したケアができるよう話し合いを行った。

9. 外部研修参加の状況

外部研修内容については全体会議、勉強会にて報告を行った。

月 日	内 容	職 種	人数
4 月 18 日	社会福祉法人監事監査研修	監事 事務長	1 1
5 月 21 日	リクレーション講座	介護員	2
5 月 27 日	接遇・マナー講座	介護員	2
5 月 30 日	広報担当研修会	事務員 介護支援専門員	1 1
6 月 3 日	社会福祉法人簿記入門講座	事務員	1
6 月 11 日	感染症講座	介護員	2
6 月 26 日	介護記録の書き方	介護員	1
7 月 17 日	社会福祉施設労働災害・健康被害対策研修	事務員	1
7 月 18・19 日	社会福祉法人経理基礎研修	事務員	1
7 月 23 日	社会福祉法人人事・労務管理研修	事務員	1
7 月 30 日	第5回高齢者福祉研究大会	介護員 事務員 栄養士	3 2 1
7 月 31～8 月 1 日	社会福祉法人経理応用講座	事務員	1
8 月 4 日	腰痛予防改善リラクゼーション講座	介護員	2
8 月 6 日	認知症高齢者支援講座	介護員	2
8 月 19 日	相談員のための支援力アップ講座	相談員	1
8 月 21・22 日	社会福祉施設職員中堅研修 I	介護員	2
8 月 26 日	権利擁護成年後見セミナー	介護支援専門員	1
8 月 27・28 日	社会福祉施設職員新任研修 I	介護員	1
9 月 5 日	ターミナルケア講座	介護員 相談員	2 1
9 月 6 日	介護職のための薬の知識講座	介護員	2
9 月 12 日	安全運転管理者講座	営繕	1
9 月 12・13 日	新会計基準経理研修	事務長	1
9 月 25 日	介護保険サービス提供事業者説明会	事務長 介護長 介護支援専門員 事務員	1 1 1 2
10 月 1 日	口腔ケア講座	介護員	1
10 月 4 日	高齢者虐待防止講座	介護員	1
10 月 8.9 日	リスクマネジメント講座	介護員	2
10 月 15 日	感染症講座中級編	介護員	1
10 月 18 日	社会福祉法人経営セミナー	施設長 事務長	1 1
11 月 1 日	ホームページ&ブログ活用セミナー	事務員	1

月 日	内 容	職 種	人数
11月6日	ノロウイルスについて	調理師 介護員	1 1
12月5日	リスクマネジメント研修	施設長 介護長	1 1
12月17日	財務管理経営分析講座	事務長	1
12月18日	急変を見逃さない救急講座	看護師	2
1月10日	認定調査講座	介護支援専門員	1
1月21日	介護現場で活かすスイーツパワー	介護員 栄養士	1 1
1月25日	福祉施設避難所研修会	介護支援専門員	1
2月4日	静岡県老人福祉施設協議会東部支部研修会	施設長	1
2月14日	社会福祉法人決算実務講座	事務員	2
2月17日	看護師研修	看護師	1
2月21日	安全運転管理協会事業主セミナー	営繕	1
2月21日	ふじのくに型福祉サービス支援事業講演会	介護長 相談員 看護師	1 1 1
2月25日	静岡県給食協会事例研究発表会	調理師 栄養士	1 1
3月1日	施設・在宅看護師職能交流会	看護師	1
3月22日	県老施協 3月定例会	施設長	1

10. 委員会事業報告

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
業務改善	業務改善の考案・改善・能率向上の為に職員から提案を提出していただき、採用案件について取り組み実施していく。 採用提案実施のサポートを行う。	前・後期でそれぞれ提案月間、審査会、褒賞式を行った。採用されたもの6件。 今回の特徴として、業務改善を自発的に行っている。営繕のコスト削減案やデイサービスから改善提案が多かった。 1.ユニットで使用している調味料について 2.シーツ交換の片付け方法 3.洗濯室の洗剤量の削減 4.ナバック洗浄液の希釈倍率の標準化 5.車いす・歩行器の取り扱い防止 6.連絡ミスを減らすために連絡経路の統一	反省： ・昨年提案され実施予定だったものが、予算計上を忘れ取り付けることができなかった。 ・提案が出るような声掛けと努力が足りなかった。 ・上司への報告、連絡不足が目立った。 課題： ・業務改善案を気兼ねなく投函できるよう心掛ける。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
広 報	白雪での行事や日常生活の話題を「白雪新聞」や「アブニール」等を通じて、利用者様やご家族様、職員並びに地域の人々に提供する。施設内掲示板の管理、整理整頓を行う。	毎月白雪新聞を発行。内容は行事関連、季節の便り、利用者様の活動紹介、季節の歌など。虎ノ門グループ誌「アブニール」では、No.48 に活動報告を掲載。 文化展に合わせてフォトコンテストを開催。投票にて順位を決めた。	反省： ・白雪新聞は担当が持ち回りで作成した為、バラエティに富んだ記事が作成できて良かったが、その反面、記事に統一性がなかった。フォトコンテストは作品タイトルをつけると良かった。 課題： ・白雪新聞の記事の充実。新聞作成以外の広報活動の充実。
行 事	毎月の行事を通して利用者に施設での生活を楽しんでいただく。また地域行事に参加し、地域と交流を持つ。	行事開催日 4月上旬各ユニットお花見 5/29 朝日小学校交流会 6/1 ご家族とバーベキュー会 6/11.12 さつき展 8/18 納涼祭 9/10 敬老会 9/28 御殿場市ふれあい広場 10/23.24 文化展 11月上旬紅葉鑑賞 11/29 朝日小学校交流会 12/20.21.22 クリスマス会 12/27 餅つき 1月上旬各ユニット初詣で 2/5 開設記念	反省： ・一部に活動に消極的な委員がおり、積極的な委員に負担が偏ってしまった。 課題： ・計画は早めに立て、委員以外の職員にも応援を求める。
感染対策	施設内の感染防止のための計画立案。職員教育、研修等必要な措置に実施。環境が起りにくい環境作り。	勉強会の実施： 4月：肝炎ウィルス 6月：雨季感染症、食中毒 12月：冬季感染症 アンケートの実施： 7.8月に全職員対象に行う。 ポスターの掲示： 5月～施設内31ヶ所に食中毒、10月～ノロウィルス・インフルエンザについて掲示 物品チェック： 爪ブラシ、感染予防ブラシ等と手洗い指導。マスク、消毒液など冬季感染予防用品の確認。	反省： ・委員会全職員が仕事を分担し、委員会に貢献することができた。 ・感染症が拡大しないように対処ができた。 課題： ・アンケート結果で明らかになった、意識向上に努める。基本である手洗いを中心に、手指衛生、感染予防対策をさらに普及できるよう努めたい。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
教 育	職員の業務上必要な知識、技術の向上を図る。また、施設内外の発表を積極的に行い、職員のスキルアップに繋がるように勉強会や研修等を企画する。	勉強会内容 4/18.28 心肺蘇生、AED使用方法 参加者 82 名 5/23.30 介護事例研究のまとめ方とポイント 参加者 74 名 6/13.27 雨季時期感染症、食中毒について 参加者 92 名 6/19 認知症を理解する(グループ合同研修) 7/11.25 ケアで見る口腔ケアに実際～Q&A参加者 87 名 8/22.29 介護者の腰痛予防や対象者の二次障害を防ぐ介護技術 参加者 87 名 9/12.26 ストレスとうまく付き合うために 参加者 88 名 10/10.24 介護記録を見直す 参加者 88 名 11/30 ユニット発表会(パワーポイント、ポスターセッション発表)参加者 92 名 12/5.12 冬期感染症についてノロウイルス、インフルエンザ 参加者 88 名 1/23.30 Kさんの看取り事例を通して 参加者 93 名 2/13.27 ヒヤリはつとを活用した介護の質のアップ 参加者 63 名 3/5 介護施設の防災について 参加者 55 名	反省： ・外部講師を招いての勉強会が知識向上に役立った。 ・実務的な勉強会が多く職員の技術向上に繋がった。 ・委員会主催の勉強会の内容に工夫がなされ職員が講師となる事で勉強になった。 ・ユニット発表の形式を変更し、初めてポスターセッション部門の導入をした。 ・職員が興味のある勉強会(介護者の腰痛予防や対象者の二次障害を防ぐ介護技術等)がなされた。 ・外部研修が多く行え、知識習得の機会が多く与えられた。又積極的に自推薦で研修に行く人が増えた。 ・定例委員会出席率が高く、委員としての自覚と責任感が強く行動力、自主性に優れた人が多かった。 課題： ・尊厳あるケアの実践を念頭においた勉強会を行う。 ・1～3年目の職員の知識向上に努める。
事故対策 抑制禁止	介護事故を防止し安全で且つ適切に質の高い介護を提供する体制を確立する。また安全な介護の提供により利用者様との信頼関係を構築し、トラブルの防止に努める。スピーチロック防止に努める。	・緊急事故対策会議への参加及び議事録の掲示。 ・報告用紙書類を書きやすく、また分かりやすく改定 ・スピーチロックのアンケートによる実態把握と意識調査。 ・タッチコール、衝撃緩和マット、L字バーの管理。 ・離設注意利用者様の周知。	反省： ・スピーチロックは意識するだけで数が減少する。誤薬が43件発生しているが全てマニュアル通りに行わない結果であった。ヒヤリはつとと事故の区別の意識付け。 課題： ・事故対策のその後の見直しの強化。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
安全衛生	職員並びに利用者の健康管理・病気予防に努め、安全で衛生的な職場づくりを目指す。	6/5、11/20 マットレス乾燥 7/12 利用者健康診断 7/3.10 職員定期健康診断 9/12.26 メンタルヘルスケア、及び腰痛予防のための講習会「ストレスとうまくつきあうために」 2/19.26 特定業務従事者健康診断(深夜業) 毎月給食従事者の検便 2月に給食従事者のノロウィルス検査実施 環境整備ポスター掲示	反省： ・慣れない委員が多かったが、活動が良い雰囲気の中で協力できた。腰痛予防勉強会で体を動かすことができて良かった。 ・健康診断時は男性職員の手伝いが必要だが、要請がうまくできなかった。特定業務検診の時間帯は指定しないと、係が大変になる。 課題： ・健康診断をスムーズに行えるようにする。メンタルヘルスや腰痛予防の研修に参加し、また、外部講師による研修会も開催したい。
防 災	・火災等人災による災害を予防。 ・地震等自然災害時の人命救助及び被害拡大防止。 ・訓練の実践をとおして、職員全員が体で覚える。	4/10 防災設備の説明と使用方法。防災教育。 5/8 非常用滑り台、非常階段を使用した避難誘導訓練 6/12 消火器・排煙口の点検と非常口、避難経路の確認 7/9 消火器・消火栓の使用した消火訓練 8/14 火災を想定した通報・連絡訓練 9/11 火災を想定した通報・連絡訓練 10/9 防災用品の整理・避難経路の確認 11/13 緊急連絡網を使用した連絡、招集訓練 12/11 消火器、防災用品点検 1/15 防災設備の説明と使用方法 2/8 施設内設備自主点検、非常食の整理 3/5 介護施設の防災について御殿場消防署職員による講義	反省： ・消防署や防災機器業者の協力を得て訓練が行えたことで、職員の知識と防災意識が向上した。 ・地震を想定した訓練を行っていない。 課題： ・緊急呼集の際のメールによる一斉送信伝達体制の確立。 ・防災機器の取扱いの周知。 ・地域との連携による合同訓練を行う。 ・積雪時の対応マニュアルの作成。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
園芸・飼育	・美化活動 ・花を見て、四季を感じて頂く。 ・飼育活動を行い、動物を見て触れ合いながら楽しんで頂く。	・園芸活動 白雪、百寿周辺の草取り、花植え、水撒き、花壇整備、追肥 ・飼育活動 日常飼育、飼育小屋の内、外周りの清掃	反省： ・利用者様が動物を身に来てくださる機会が増えた。季節の花を楽しんでいただけた。雪で冬に植えた花が枯れてしまった。 課題： ・牧草を植える。百寿にも花壇をつくる。
給食	・栄養課業務の改善及び、食事内容の充実を図る。 ・特別メニューの充実。 ・「白雪レストラン」の発行継続。	毎月、給食日より「白雪レストラン」の掲示と配布により、食事に楽しみや関心を持っていただくよう、心掛けた。 ユニットでの調理を行い、特別メニューの実施。寿司、ラーメンの希望が多かった。調理に参加できる餃子、お好み焼き、鍋も人気メニューだった。	反省： ・昨年より特別メニューの希望が少なかった。 課題： ・白雪レストランの内容について、写真や楽しい文章で、充実したお便りが発行できるよう心がける。 ・嗜好調査をメニューに生かす。 ・特別メニューの検討。
看取り (こもれびの会)	看取り体制の充実を図り施設全体で質の高いケアを目指し実践していく。	・偲びのカンファレンス用紙の改善 ・死後処置マニュアルの作成 ・ターミナルケア外部研修参加 ・看取り件数1件	反省： ・看取り者の確認を口頭で行ってきたが、毎月委員が見て回ることも必要なのではないか。 課題： ・看取りケアについての知識を深めるため、委員会で事例検討や勉強会を行うと共に、外部研修にも積極的に参加していく。

とらのこ保育園 事業報告

1. 利用状況

入所児童数：定員 90 名

月	乳児	1・2歳児	3歳児	4歳児以上	合計
4	6	31	16	31	84
5	6	32	16	31	85
6	9	32	16	31	88
7	9	31	16	32	88
8	9	31	16	32	88
9	9	32	16	32	89
10	9	32	16	32	89
11	9	32	16	32	89
12	9	32	16	32	89
1	9	32	16	30	87
2	9	33	16	30	88
3	9	33	16	30	88
合計	102	383	192	375	1,052

事業名	延べ利用人数
一時預かり保育	2,206 人
延長保育	426 人
休日保育	98 人
病児保育	1 人

2. 主な年間行事

月	内 容
4	4 日 入園式 17 日 幼年消防任命式（年長児）
5	22 日 救助隊見学（年長児）
7	1 日 プール開き 5 日 七夕の集い 10 日 交通安全教室 27 日 とらのこまつり
8	30 日 プール閉め
9	22 日 運動会
10	4 日 秋の遠足
11	1 日 防火パレード 6 日 芋ほり 15 日 七五三を祝う会
12	14 日 クリスマス発表会 20 日 もちつき大会
1	29・31 日 保育参観
2	3 日 節分の会 6 日 消防修了式（年長児）
3	3 日 ひな祭り 7 日 お別れ遠足 22 日 卒園式

3. 会議開催の状況

●代表者会議

開催時期：毎月第 1 水曜日

出席者：園長、主任保育士、各クラス代表保育士

開催日	主 な 議 題
5 月 8 日	・各クラスの問題点(問題を抱えている子の連絡) ・砂場の使い方 ・遠足について
6 月 4 日	・各クラスの問題点の経過報告 ・とらのこまつりについて ・各委員会より
7 月 5 日	・入退園児の連絡 ・運動会、七夕、敬老の日について ・食育委員会より
10 月 2 日	・各クラスからの連絡 ・秋の遠足について ・保育の日(研修)の保育について
1 月 22 日	・保育参観の要望について
2 月 5 日	・次年度の行事について(春の遠足、運動会、発表会) ・各クラスより
3 月 4 日	・卒園式について ・卒園式後の保育について

●全体会議

開催時期：毎月第4水曜日 出席者：全職員

開催日	主 な 議 題
4 月 24 日	・行事予定の内容、連絡 ・各委員会の事業計画 ・春の遠足について
5 月 17 日	・行事計画 ・春の遠足、さつま苗さし、保育参観、とらのこまつりについて
6 月 26 日	・5 月の行事反省 ・プール開き、七夕集会、とらのこまつりについて ・各委員会より
7 月 31 日	・6 月の行事反省 ・卒園児の集い反省 ・9 月防災訓練、運動会について
9 月 2 日	・防災訓練の反省 ・敬老会、運動会について
9 月 25 日	・運動会、敬老会の反省 ・秋の遠足、ハロウィンについて
10 月 23 日	・秋の遠足の反省 ・発表会、芋ほり、七五三について ・各委員会より
11 月 27 日	・行事予定確認 ・10 月の行事反省 ・餅つき、クリスマス会について
12 月 20 日	・発表会、餅つきの反省 ・保育参観について ・各委員会より
1 月 24 日	・保育参観日の反省 ・節分の会、ひなまつりについて
2 月 26 日	・節分の会、幼年消防修了式の反省 ・ひな祭り、お別れ遠足、卒園式について
3 月 22 日	・ひな祭り、お別れ会、お別れ遠足反省 ・各委員会活動報告、反省 ・クラス発表

4. 外部研修参加の状況

外部研修内容については全体会議等にて報告を行った。

月 日	内 容	職 種	人数
4 月 25 日	保育所連合会総会・所長研修会	園長	1
5 月 15 日	静岡県保育研究大会	園長・保育士	2
5 月 25 日	保育士会東部「睦会」総会	主任保育士	1
6 月 4 日	絵本大学「保育の中の絵本」講座	保育士	1
6 月 8 日	新規採用職員研修会	保育士	1
6 月 15 日	CLMと個別の指導計画(御殿場保育士会)	保育士	6
7 月 6 日	運動会に向けてのリズム遊び(御殿場保育士会)	保育士	2
8 月 2 日	ワンダーサマースクールいつもの保育に+1	保育士	2
8 月 5 日	幼稚園・保育園・小学校・中学校教職員合同研修会	主任保育士	1
8 月 6 日	チャイルドサマーセミナー	保育士	2
8 月 6 日	福祉サービス苦情解決研修会	栄養士	1

月 日	内 容	職 種	人数
10 月 9 日	地域保健・医療・福祉活動研究会	保育士	1
1 月 25 日	保育所連合会・乳幼児期に本当に必要とされる教育	保育士	1
1 月 30 日	保育所連合会・施設長研修会	保育士	1
2 月 28 日	青年部会西部支部研修会・公開保育参観(浜松)	保育士	2

5. 委員会事業報告

昨年度より保育園独自で委員会を編成し、活動を行った。毎月1回委員会を開催し、職員への要望などを職員会議にて報告して委員会の充実を図る。

委員長が必要性を認める場合は園長が委員会に参画し、運営の充実を図った。

	活動目的	活動内容	反省及び課題
保健衛生	幼児及び職員の健康の確保のために施設内外の保健的環境の向上に努める。	・クラスの薬品の管理。薬品袋、箱の分配、薬品の補充。 ・掲示板にを設置して、定期的に感染症や衛生管理の手洗いの仕方等を掲示する。 ・職員会議で手洗いの歌を指導し、周知を図る。	・掲示板に感染症の予防他、保護者に知らせたい事項を掲示したので、関心を深められた。 ・手洗い、歯みがき指導を次年度も進めたい。 ・インフルエンザ、ノロウイルスにも効果のある除菌スプレーを購入したので良かった。
環 境	保 育 環 境 の 整 備、向上に繋がるように、勉強会や研修を企画し実施する。	・用品、備品、教材等の管理、教材室の整理、整頓。 ・園庭遊具の安全確認。 ・定例委員会後に教材庫の見回りをする。	・教材庫の整理整頓を常に心掛けてきたが、そこに留まってしまったので、次年度は活動を広げていきたい。 ・使った物の片付けは各自責任を持って欲しい。 ・次年度は、ヒヤリハットの集計分析も活動内容に加える。
教 育	職員の知識向上に繋がるように、勉強会や研修を企画し実施する。	・特養白雪と合同研修会に参加する。 ・ユニット発表で、園での取り組みを発表する。 ・研修課題を決め、各クラスに割振りをして研修発表を行う。 ・グループディスカッションを行い、話し合いの場を設ける。	・ユニット発表では、園の取り組みが評価されて特別賞を頂く。意識を高く持ち、継続して取り組む。 ・グループディスカッションは、皆で話し合う良い機会となり有意義であったので次年度もやりたい。 ・発表にあたりパワーポイントを学びたい。

	活動目的	活動内容	反省及び課題
食 育	食育に関する年間計画を定め実施のサポートをする。	・食育実践の計画を立て、準備に携わる。(苗付、草取り等) ・年4回、食育だよりの発行。 ・給食で子どもの好きなおかずのレシピを印刷して、自由に持ち帰らせる。 ・食育のアンケートを配布、結果を報告する。	・レシピを設置したことで子どもが進んで取りに行く姿が見られ、親子の会話が広がり食物への関心が高まった。 ・食育便りでは、保護者へ関心を高められた。 ・レシピにおいては、子どもの好きなメニューをだしきったので、次年度は検討したい。
広報・写真	園内の壁面装飾と写真、ホームページの管理。	・デジカメの管理。貸出ノートを置き利用者に責任をもたせる。 ・保育写真の取りまとめをして注文をする。 ・廊下の壁面製作。	・カメラの貸出ノートの活用で、使いたい時に探す手間が解決され、書く作業により返却する責任の意識を高められ、カメラの返却が早まって良かった。 ・廊下の壁面は親子で見るとなるので関心が高く喜ばれた。

特別養護老人ホーム高砂 事業報告

1. 利用者の状況

平成 26 年 3 月末現在

●特別養護老人ホーム(入所)高砂 平均在所期間 1 年 6 ヶ月

介 護 度	1	2	3	4	5	合計	平均	入所待機状況(人)
沼 津	5	15	9	17	16	62	3.54	46
御 殿 場	1	4	1	0	0	6	2.00	1
裾 野	0	0	2	1	3	6	4.16	4
長 泉	0	0	0	1	0	1	4.00	1
三 島	1	1	1	0	0	3	2	2
そ の 他	1	1	0	0	0	2	1.00	6
合 計	8	21	13	19	19	80	3.25	60

●通所介護(デイサービス)高砂

介 護 度	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合計	平均
登録人数	3	1	7	8	2	3	0	24	2.5

2. 利用者・家族との連携

日頃から家族との会話を積極的に行い、忌憚のない意見を聞くことにより、家族との距離を縮め、より親しみある施設の構築に努めた。

面会の状況

月	月延べ件数	1日平均件数	月	月延べ件数	1日平均件数
4	292	10	10	281	9
5	310	10	11	265	9
6	305	10	12	258	8
7	271	9	1	308	10
8	281	9	2	226	8
9	295	10	3	232	7
			平均	277	9

3. 苦情解決の取り組み

玄関前にご意見箱を設置 ご意見箱件数 平成 25 年度 なし

4. 主な年間行事

本年度は外出を伴う機会(行事)を増やすことにより、利用者の皆様に季節を感じ又、気分転換を図ってもらえるような事業計画に重点をおき、地域の行事への参加も実施した。

月	行 事 内 容	
4	1～ 5 日 お花見	
5	1 日 創立記念バーベキュー	
7	1～ 7 日 七夕祭り	
8	4 日 納涼祭	
9	13 日 敬老会	
10	29 日 みかん狩り	
11	6・14 日 菊華展	12～24 日 文化展
12	14 日 クリスマス会	26 日 餅つき大会
1	1～4 日 初詣、書初め	
2	4 日 豆まき	

5. クラブ活動の状況

日頃外出の機会の少ない利用者の皆様に少しでも楽しい時間を過ごしていただけるよう、クラブボランティアによる催しを定期的に行い、文化活動や娯楽の提供を行った。

内 容	指導員数	年間回数
カラオケ		56
体 操	1	43
手 芸	1	44
詩 吟	1	12
絵 手 紙	2	12
映画鑑賞		12
書 道	1	52
歌	3	12
傾 聴	5	9

6. 会議開催の状況

●リーダー会議

開催時期：毎月第2月曜日

出席者：施設長、事務長、院長、ユニットリーダー、デイ、看護師、クリニック

開催日	主 な 議 題
4 月 18 日	・介護、診療報酬の実績報告 ・院内 LAN の活用について ・クリニックにおける新患獲得対策について
5 月 13 日	・介護、診療報酬の実績報告 ・コストの削減について
6 月 10 日	・介護、診療報酬の実績報告 ・勤務時の服装について ・入所者及び職員の健康診断の実施について
7 月 8 日	・介護、診療報酬の実績報告 ・入所者の整容について ・施設内の感染予防について
8 月 12 日	・介護、診療報酬の実績報告 ・近隣住民の接し方について
9 月 9 日	・介護、診療報酬の実績報告 ・職務に対する意識について
10 月 15 日	・介護、診療報酬の実績報告 ・コストの削減について ・インフルエンザの予防接種について
11 月 11 日	・介護、診療報酬の実績報告 ・教養娯楽費の活用について ・施設内の感染予防について
12 月 9 日	・介護、診療報酬の実績報告 ・年末の大掃除の実施について
1 月 14 日	・介護、診療報酬の実績報告 ・クリニックの広報誌について ・施設内の感染予防について
2 月 10 日	・介護、診療報酬の実績報告 ・身だしなみ、マナーについて ・リーダー登用試験について
3 月 10 日	・介護、診療報酬の実績報告 ・休憩室の使用について

●ユニット会議

開催時期：各ユニット月1回

出席者：各ユニット職員、看護師、機能訓練指導員、生活相談員、栄養士

主な議題：個々の利用者様の状態について多職種の意見も聞く中で、よりその人に合ったケアを目指して意見交換を行った。

7. 外部研修参加の状況

外部研修内容については全体会議、勉強会にて報告を行った。

月 日	内 容	職 種	人数
4 月 17 日	沼津市特養連絡協議会 栄養士部会	管理栄養士	1
5 月 22 日	老施協定例総会	事務長	1
6 月 4 日	衛生・管理栄養講習会	管理栄養士	1
6 月 11 日	接遇マナー研修	介護職員	3
6 月 23 日	第 17 回理学療法士学会	理学療法士	1
7 月 17 日	沼津市特養連絡協議会 栄養士部会	管理栄養士	1
7 月 26 日	第 5 回高齢者福祉研究大会	施設長 介護職員	1 4
9 月 14 日	救急フェアに伴う救急研修会	介護職員	2
9 月 18 日	感染症予防のための研修会	事務職員	1
9 月 25 日	より良い高齢者ケアを考えるセミナー	事務長 介護職員	1 2
9 月 25 日	介護保険サービス提供者集団指導	施設長 事務長 事務職員	1 1 1
10 月 19 日	感染対策セミナー I	介護職員	1
10 月 21 日	福祉サービス苦情解決研修会	施設長	1
11 月 30 日	感染対策セミナー II	介護職員	1
12 月 5 日	リスクマネジメント研修	施設長	1
1 月 25 日	福祉避難所研修会	介護職員	1
2 月 3 日	福祉施設職員一泊研修交流会	介護職員	1
2 月 21 日	病院・高齢者給食施設 栄養士研修会	管理栄養士	1
2 月 25 日	静岡県給食協会事例発表会	管理栄養士	1
3 月 20 日	平成 25 年 3 月定例会議	施設長	1

8. 委員会事業報告

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
業務改善	業務改善案を募り、検討する。採用の場合には実施をサポートする。	・審査会を2回行った。 ・合計 23 件の提案があった。優秀案件は表彰。	・提案件数が少なかった。 ・提案の呼びかけと提案内容の改善に努める。
広報・PC	施設の活動内容をご家族、地域の方々に広く周知する。 職員のパソコン技術向上を図る。	・毎月の高砂新聞の発行 ・パソコン勉強会開催	・新聞の定期的な発行ができた。今後も内容を充実させ発信していく。 ・PC技術向上のため勉強会を開催していく。
抑制・事故対策	安全でその人らしい生活を支援できるよう介護体制を確立する。事故防止の為危険予知や危険を回避する能力を身につける。身体拘束について理解を深め見えない拘束を廃止。	・ヒヤリはっとの集計、事故対策会議での対策検討、事故防止の呼びかけ。 ・身体拘束に対して職員への意識付け。	・ヒヤリはっとは十分理解されているが、事故防止の対策とスピーチロックについても積極的に今後も取り組んでいく。
行 事	行事を通して、利用者様に季節を感じて頂き生活への張り合いや変化を楽しむ機会を設ける。 地域行事に参加し、地域の交流を持つ。	4 月花見 5 月開設記念(BBQ) 7 月七夕祭り 8 月納涼祭 9 月敬老会 11 月菊華展・文化展 12 月クリスマス会	・計画に対する実行がスムーズにできなかった。 ・今後は、計画内容を事前に周知し、職員の協力体制を充実させる。
感染衛生	労働安全法に基づき職場における職員の安全と健康を保持し、快適な作業環境の形成を促進する。施設内感染予防対策の計画、職員研修等を実施する。	・感染予防の啓発活動や感染予防の実践活動を行った。 ・職員の健康診断実施	・感染症が拡大することがなかった。感染症に対する知識を職員へ周知徹底していく。 ・腰痛予防やメンタルヘルス対応も行っていく。
給 食	栄養課業務の改善及び給食の内容充実を図る。	・給食だよりを毎月発行 ・行事メニューの策定 ・実施献立の反省	・給食だよりの発行は定期的にできた。 ・実施献立の反省を食事提供に反映できるよう今後も行う。
防 災	火災等の人的災害の予防、地震等の自然災害時の救助及び被害の軽減を図る。	毎月、さまざまな火災状況を想定し、消火活動や通報訓練、誘導訓練を行った。	・利用者様も参加してもらった訓練が少なかったため、今後は実際に近い形で訓練ができるようにしていく。 ・火災だけでなく様々な災害を想定して行っていく。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
教 育	職員の業務上必要な知識、技術の向上を図ると共に、施設内外の発表も積極的に行い、職員のスキルアップに繋がるよう、勉強会、研修会等を企画する。	4月 褥創予防 5月 基礎介護 6月 口腔衛生 7月 感染症 8月 急変時の対応 9月 身体拘束 10月 感染症 11月 嚥下機能 12月 ユニット発表会 1月 認知症 2月 心肺蘇生 3月 接遇マナー	・参加率が悪くなってしまったので、参加率を上げるため、日時の変更などを行っていく。 ・介護レベル(経験年数)にあわせた内容の勉強会を行っていく。
喀 痰	胃ろう・吸引の必要な利用者様の状態把握をする。 職員への知識技術の評価・指導を行う。	・毎月、利用者様のカンファレンスを行った。 ・職員に対し評価・技術指導を行った。	・看護師がついて指導している。今後もカンファレンスを行い、利用者様の状態を把握した上で、実施していく。

フジ高砂クリニック 事業報告

1. 外来患者数

地域別外来人数は高砂、駿河台が大部分を占めていたが、高尾台、西熊堂、東熊堂、東沢田、松沢町、豊町方面へも拡大している。

昨年度に比べ、自賠、労災の患者も増加した。(20件から61件)

インフルエンザの予防接種を外来患者、職員、利用者様へ計画的に行い、地域、職場内での感染症予防に努めた。

月	延べ患者人数	診察日数	月	延べ患者人数	診察日数
4	472	21	10	525	21
5	403	17	11	572	20
6	512	21	12	546	21
7	516	22	1	530	19
8	504	22	2	509	19
9	372	15	3	565	20
			合計	6,026	238

2. 健康教室の目的とテーマ

健康教室を通しての新患の獲得と、地域におけるクリニックの認知度を高め、地域医療に貢献することを目的として行っている。毎月のテーマを決め、回覧板により近隣の皆様にお知らせしている。

月	内 容
4	肩関節拘縮（腕があがらなくなった理由と拘縮予防の体操）
5	半月板損傷（膝の痛みを半月板の損傷から着目）
6	首の痛み（姿勢からくる首の痛み）
7	熱中症（夏場に熱中症予防エクササイズ）
8	足関節捻挫（足関節捻挫の恐ろしさ）
9	ロコモティブシンドローム（運動器障害による移動能力の低下のため、要介護になったり、そうなる危険の高い状態を予防するためのエクササイズ）
10	椎間板ヘルニア（姿勢と痛みの関係によるヘルニア防止）
11	肩関節脱臼（脱臼の原因と予防策）
12	大腿骨頸部骨折（大腿骨頸部骨折の原因と治療）
1	脳梗塞（脳梗塞の原因と予防）
2	腰椎圧迫骨折（腰椎圧迫骨折の原因と予防）
3	膝蓋骨骨折（膝蓋骨の機能）

3. 会議開催の状況

●クリニック会議

開催時期：毎月第2水曜日 出席者：施設長、事務長、院長、事務員、看護師、理学療法士

主な議題：クリニックの収益増加、サービス向上を目指し、他職種での意見交換を行った。

結 果：新規の漢方薬の院内展示、クリニック通信の発行、来年度からの特定健診へと繋ぐ事ができた。

4. 外部研修参加の状況

外部研修内容については全体会議、勉強会にて報告を行った。

月 日	内 容	職 種	人数
5 月 30 日	新規個別指導(東海北陸厚生局)	ドクター 事務職員	1 1
6 月 14 日	予防接種説明会	事務職員	1
6 月 23 日	第 17 回理学療法士学会	理学療法士	1
9 月 18 日	感染予防の為の研修会	事務職員	1
3 月 15 日	診療報酬改正セミナー	事務職員	1
3 月 26 日	集団指導	事務職員	1
3 月 31 日	診療報酬改正セミナー	事務職員	1

5. 医療安全と事故対策

活動目的	医療事故の発生を未然に防ぎ、患者様が安心して安全な医療を受けられる環境を整える。
活動内容	ヒヤリはっとなら集計、対策の検討。随時、緊急事故対策会議
結 果	ヒヤリはっとは1件も出なかった。随時、細心の注意を払い業務を行う。投薬ミスを防ぐためのダブルチェックの継続。

6. 年間治療項目

月	治療項目	月	治療項目
4～6	花粉症	11	インフルエンザ ノロウイルス対策
7～8	脱水症	12	インフルエンザ予防接種 ノロウイルス対策
9～10	花粉症	1～3	脳出血対策

特別養護老人ホーム・高齢者住宅などしこ 事業報告

1. 利用者の状況

平成 25 年 3 月末現在

●特別養護老人ホーム

介 護 度	1	2	3	4	5	合計	平均	入所待機状況(人)
富士河口湖町	0	2	11	10	6	29	3.7	55

●高 齢 者 住 宅

介 護 度	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合計	平均	入居待機状況(人)
富士河口湖町	1	1	7	8	5	3	1	26	2.1	1
富士吉田市	0	0	5	2	2	1	2	12	2.4	1
大 月 市	0	0	0	1	1	0	0	2	2.5	1
都 留 市	0	0	2	4	1	1	1	9	2.4	0
山中湖村	0	0	0	0	0	1	0	1	4.0	0
上野原市	0	0	0	0	0	1	0	1	4.0	0
身 延 町	0	0	0	0	0	0	1	1	5.0	0
東 京 都	0	0	1	1	0	1	0	3	2.3	0
合 計	1	1	15	16	9	8	5	55	3.1	3

2. 利用者・家族との連携

面会の状況

特別養護老人ホーム

月	月延べ件数	1日平均件数	月	月延べ件数	1日平均件数	月	月延べ件数	1日平均件数
4	218	7.2	8	169	5.4	12	181	5.8
5	220	7.0	9	209	6.9	1	179	5.7
6	217	7.2	10	194	6.2	2	117	4.1
7	204	6.5	11	196	6.5	3	222	7.1
						平均	193.8	6.4

高齢者住宅

月	月延べ件数	1日平均件数	月	月延べ件数	1日平均件数	月	月延べ件数	1日平均件数
4	223	7.4	8	250	8.0	12	214	6.9
5	217	7.0	9	217	7.2	1	201	6.4
6	215	7.1	10	158	5.0	2	94	3.3
7	221	7.1	11	211	7.0	3	240	7.7
						平均	205.1	6.7

3. 地域との交流・施設開放の取り組み

地域交流スペース利用状況

月	内 容
4	11 日 心肺蘇生法講習会 21 日 七軒町四丁目公民館祭り 25 日 ボランティア交流会だるま会（歌謡・舞踊）
5	1 日 ボランティア交流会富士山自遊大学舞踊・蔵田亜由美さんホルン演奏
6	7 日～ 健康科学大学生による健康体操教室（毎週金曜） 9 日 ボランティア交流会ファミリー音楽会
8	10 日 納涼祭（婦人会、健康科学大学生、NPOだんだん）
10	10 日 介護疑似体験 15 日 ボランティア交流会マジックショー（持田利雄さん）
11	21 日 ボランティア交流会ヴァイオリンコンサート（富士河口湖町文化振興局） 23 日 ボランティア交流会音楽コンサート（おやじバンドー郎さんとサンペール）
12	12 日 ボランティア交流会クリスマスコンサート（サンマミーコーラス）
1	16 日 ボランティア交流会カラオケ大会（山口陽子さん、古屋健三さん、高橋すえ子さん）
3	23 日 ボランティア交流会カラオケ教室

4. 情報公開の取り組み

玄関入り口に運営規程、重要事項説明書の掲示を行っている。

5. 苦情解決の取り組み

玄関前にご意見箱を設置 ご意見箱件数 平成 25 年度 なし

6. 主な年間行事

月	行 事 内 容
4	10・12・16 日 町内桜の名所めぐり
5	1 日 なでしこ開設 1 周年記念
6	5 日 月遅れ端午の節句柏餅作 下旬～7月上旬 ハーブフェスティバル見学(特養)
7	2 日 ハーブフェスティバル見学(高齢者住宅) 7 日 七夕飾り
8	5 日 河口湖湖上祭花火見物 10 日 なでしこ・はまなす合同納涼祭
9	04 日 火災想定避難誘導・通報・消火総合訓練 15 日 敬老会
10	31 日 ハロウィンパーティー(さつま芋のお菓子作り)
12	12 日 クリスマス会 25 日 餅つき大会
1	13 日 小正月だんごばら作り
2	3 日 節分・豆まき
3	3 日 ひな祭り 19 日 春彼岸ぼたもち作り

7. 会議開催の状況

●管理会議

開催時期：毎月第 4 木曜日

出席者：施設長、高齢者住宅サービスマネージャー、生活相談員、事務員、
ユニットリーダー、はまなす訪問介護責任者

議事内容：ユニット会議・委員会の報告、事務連絡、グループ内連絡事項確認

●全体会議

開催時期：毎月第 2 木曜日

出席者：全職員

議事内容：各ユニット、各委員会、各部署より報告、施設内連絡事項伝達

●ユニット会議

開催時期：各ユニット月 1 回

出席者：各ユニット職員、生活相談員、看護師、栄養士、介護支援専門員

議事内容：ケースカンファレンス、業務見直し、ユニット行事計画

●各種委員会

開催時期：各委員会月 1 回 出席者：各委員会職員

議事内容：各委員会の年間計画、目標に沿って話し合い

●給食会議

開催時期：毎月第3木曜日

出席者：委託業者管理責任者、施設長、高齢者住宅サービスマネージャー、栄養士、
ユニットリーダー

議事内容：食事に関するヒヤリ・はっとの分析、メニュー、食材についての意見交換

●リーダー会議

開催時期：毎月15日

出席者：施設長、生活相談員、ユニットリーダー

主な議題：各ユニットからの報告、職員の指導、入居者の処遇、勤務について

●運営推進会議

出席者：富士河口湖町介護保険係長、地域包括センター長、七軒町自治会、民生委員、
ご家族、第三者委員、施設長、生活相談員

開催日	内 容
4月11日	第1回運営推進会議 消防署員による心肺蘇生講習会
6月13日	第2回運営推進会議 認知症家族の会渡辺さんのお話
8月10日	第3回運営推進会議 納涼祭見学
10月10日	第4回運営推進会議 介護疑似体験
12月12日	第5回運営推進会議 クリスマス会参加
2月13日	第6回運営推進会議 平成25年度活動報告

8. 外部研修参加の状況

月 日	内 容	職 種	人数
5月14日	栄養士会報告会・研修会	栄養士	1
7月 3日	社会福祉施設初任職員研修	栄養士	1
7月17日	施設における感染症対応について	介護職員 看護師	1 1
7月29・30日	高齢者疑似体験指導者研修	介護職員	1
8月 7日	社会福祉施設給食担当職員研修	栄養士	1
8月 8日	クレーム対応強化研修	事務員	1
8月 9日	現場で使えるトランスファーのコツ(基礎編)	介護職員	3
9月12日	新会計基準移行について	事務員	1
9月30日	富士東部地区集団指導	生活相談員 事務員	1 1
10月 4日	口腔ケア普及研修会	介護職員	1
11月 8日	社会福祉施設主任介護職員研修	介護職員	1
11月13・14日	褥創研修	介護職員	1

月 日	内 容	職 種	人数
11 月 27 日	メンタルヘルス研修	施設長	1
11 月 29 日	山梨県老施協職員研修会	介護職員	3
11 月 29 日	苦情解決担当者研修	生活相談員	1
2 月 3 日・24 日	認知症研修 1	介護職員	1
3 月 2 日	山梨県老施協研究総会	介護職員	2
		生活相談員	1
		看護師	1
		栄養士	1

9. 委員会事業報告

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
防災・設備	①防災規程改正 ②防火管理組織、 自衛消防隊の編 成及び活動 ③施設及び防災設 備の改善・強化 ④入居者及び職員 に対する防災教 育・防災訓練 ⑤災害に必要な食 料、飲料水の備 蓄 ⑥入居者・職員に 対する避難誘導 ⑦その他、防災上 必要事項の調査	4 月 緊急時の持出しファイ ル作成、防災品の備蓄 5 月 連絡網の見直し、 発電機の確認。 6 月 自主避難訓練実施 7 月 避難訓練の反省、 自主点検 8 月 委員会開催時間変更 総合避難訓練実施 9 月 消防署立会総合避難 訓練実施 10 月 避難訓練の反省、 夜間伝達訓練の周知 11 月 夜間伝達訓練実施、 反省 12 月 夜間呼集訓練実施 1 月 連絡網の改正、 自主点検実施 2 月 防災備品チェック 3 月 引継ぎ及び書類整理	・伝達訓練をこまめに行うべき だった。 ・避難訓練時の車椅子操作方 法の指導を強化していく。 ・夜間のみでなく日中も伝達や 呼集を行って生きたい。 ・施設の設備に関する活動を行 っていく。 ・自然災害時の委員会の動きを 明確にしていく。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
処遇改善・ 事故防止	介護事故を防止し、適切な質の高い安心・安全なサービスを提供する体制を確立する。 入居者様の尊厳を守り、自立した生活が送れるように各専門職の知識、技術を高め質の高いケアを目指す。	ヒヤリ・はっと件数 4月 175件 5月 200件 6月 209件 7月 281件 8月 345件 9月 379件 10月 462件 11月 281件 12月 277件 1月 233件 2月 189件 3月 272件 総数 3,303件 事故報告件数 67件 入院事故件数 2件	・職員の危機管理に統一性が出てきているので、今後も職員からあがるテーマの勉強会を企画する。 ・同じ内容のヒヤリ・はっとが継続して出ている入居者様に対するケアの見直しが出来ていないので、集計データを分析し、ケアを見直しカンファレンス等で提案できるようにしていく。
生 活	博友会の理念のもと“長生きしてよかった”のお手伝いとして入居者様がより良い生活を送れるよう季節にあった行事・風習を生活に取り入れる。	4月 お花見ドライブ 5月 開設1周年記念行事 6月 ラベンダーフェスティバル 7月 七夕飾り 8月 納涼祭 9月 敬老会、おはぎ作り 10月 ハロウィンお茶会 11月 ほうとう作り 12月 クリスマス会、餅つき大会 1月 小正月団子作り、新春茶会 2月 豆まき 3月 ひな祭り、ぼたもち作り	・事計画書及び会議録の提出が滞ってしまったことがあった。 ・職員の数に限りがあり、計画通りにいかない事があった。 ・課題として、書類関係は期限を設け提出するようにする。
感染対策	①感染症の基礎知識を学ぶ。 ②感染症予防マニュアルの作成。 ③感染予防に対する職員の危機管理意識を高める。 ④感染症が発生した時の対応、マニュアルの見直し。 ⑤トピックスの作成。	・感染症の種類、特徴、予防方法の種類についての資料作りと配布 ・うがい手洗いの指導・実施 ・清掃方法、吐物処理、食器類の対処について実践学習 ・季節性感染症の勉強会実施 ・ラウンドの実施	・季節ごとや、流行の兆しを見ながらタイムリーに情報提供できた。 ・うがい、手洗いの意識は高まっている。 ・ラウンドを通し感染に対する危機感をもっと持ってもらえるよう情報提供をしていきたい。

特別養護老人ホーム・ケアハウスすずらん 事業報告

1. 利用者の状況

平成 26 年 3 月現在

●特別養護老人ホーム(入所)すずらん 平均在所期間 新型：2 年 4 ヶ月、従来型：2 年 3 ヶ月

介 護 度	1	2	3	4	5	合 計	平均	入所待機状況(人)
御殿場市	7	16	38	20	11	92	3.13	143
小 山 町	3	3	10	8	5	29	3.31	43
裾 野 市	0	2	0	6	0	8	3.50	8
そ の 他	4	3	9	4	1	21	2.76	40
合 計	14	24	57	38	17	150	3.18	234

●短期入所生活介護(ショートステイ)すずらん

介 護 度	支援 1	支援 2	1	2	3	4	5	合 計	平均
登録人数	0	0	11	17	17	11	3	59	2.63

●通所介護(デイサービス)すずらん

介 護 度	支援 1	支援 2	1	2	3	4	5	合 計	平均
登録人数	2	2	18	18	9	8	2	59	2.08

●ケアハウスすずらん(特定入所) 平均在所期間 11.6 ヶ月

介 護 度	支援 1	支援 2	1	2	3	4	5	合 計	平均
御殿場市	4	5	14	9	4	0	0	36	1.22
小 山 町	0	1	2	3	0	1	0	7	1.71
裾 野 市	1	2	2	0	1	0	0	6	0.83
そ の 他	6	3	10	8	0	4	0	31	1.35
合 計	11	11	28	20	5	5	0	80	1.28

入所調整状況

御殿場市	2
小 山 町	1
裾 野 市	0
そ の 他	0
合 計	3

●ケアハウスすずらん(一般入所) 平均在所期間 10.8 ヶ月

入所者数		入所調整状況
御殿場市	12	1
小 山 町	2	0
裾 野 市	1	0
そ の 他	5	0
合 計	20	1

2. 利用者・家族との連携

面会の機会などを通じて、利用者・入居者様本人はもとより、そのご家族様に施設へのご理解をいただき、また、素直なご意見をいただくため、日頃より家族とのコミュニケーションを図るよう努めた。

面会の状況

月	特別養護老人ホームすずらん		ケアハウスすずらん	
	月延べ件数	1日平均件数	月延べ件数	1日平均件数
4	689	23	278	9
5	740	24	352	11
6	688	23	349	12
7	694	22	335	11
8	624	20	303	10
9	569	19	311	10
10	590	19	378	12
11	886	30	258	9
12	491	16	254	8
1	589	19	323	10
2	324	12	178	6
3	532	17	268	9
平均	618.0	20.3	298.9	9.8

3. 地域との交流・施設開放の取り組み

地域住民との交流を図るため、地域交流センターを使用して、近隣保育園との交流会を開催したり、また納涼祭やコンサートでは、地区住民に対して広くご参加を呼びかた。加えて、多くの地域住民の方にすずらん温泉を利用していただいた。

●地域交流センター利用状況

催し事	月	内 容
	4	13日 勝又静雄さんのすずらんショー、20日 公時大富士太鼓
	6	5日 日本舞踊
	7	6日 マジッククラブのマジック&フラダンスショー、10日 高根第2保育園交流会
	8	10日 フラダンスクラブのフラダンスショー、13日 琴城流大正琴の大正琴演奏会、26日 沼津交響楽団ミニコンサート
	9	11～13日 敬老会、19日 ハンドベル演奏会
	10	5日 ハーモニカ演奏会のすずらん演奏会、26日 高根歌謡楽座の高田彰歌謡ショー
	11	13日 ふじかわ健さん歌謡ショー、16日 津軽三味線の演奏会
	12	6日 インマヌエルのコンサート、11日 華の会の歌謡ショー、28日 餅つき大会、14日 クリスマス会(ふじかわ健さん歌謡ショー)、25日 ロッキーイワタ訪問販売
	3	1日 ローカルサンドクラブ演奏会、11日 ふじかわ健さん歌謡ショー
視聴覚機器利用	月	内 容
	3	10日 御殿場市福祉環境委員会視察
	5	28日 三島市民生員児童委員広報部会視察
	7	17日 給食協会御殿場支部栄養衛生管理研修会
	10	23日 原里地区神場地域福祉推進委員会

●すずらん温泉 露天・内風呂利用状況

月	男性延べ人数	女性延べ人数	合計	月	男性延べ人数	女性延べ人数	合計
4	134	68	202	10	105	39	144
5	160	67	227	11	82	24	106
6	151	34	185	12	72	24	96
7	116	33	149	1	81	30	111
8	73	29	102	2	80	33	113
9	79	30	109	3	98	57	155
				合計	1,231	468	1,699

4. 情報公開の取り組み

玄関入り口付近の棚に、重要事項説明書、事業報告書、決算書、事業計画書、予算書のファイルを設置し、利用者・入居者様、ご家族様、来館者が常時閲覧できるようにしている。

5. 苦情解決の取り組み

苦情受付担当者、生活相談員、その他の関係職員と連携を取り、苦情受付・対応・記録・解決を迅速に行えるようにした。その結果、年間を通じて8件の苦情を受け付けたが、全て解決に至った。また玄関入り口付近にご意見箱を設置し、利用者様およびそのご家族様から、施設の運営に関わるご意見をいただけるよう努めたが、苦情に至るご意見は見られなかった。

6. 主な年間行事

本年度は、同法人 5 の特別養護老人ホーム白雪の年間行事を手本にして、利用者の生活の質の向上に努めた。また職員においても行事運営に慣れることに視点を置いた。

月	行 事 内 容
4	8～14 日 お花見鑑賞会
5	7～31 日 つつじ鑑賞会
6	3・4・6 日 特養バーベキュー大会、5 日ケアハウスバーベキュー大会
7	1～7 日 七夕祭り、10 日高根第2 保育園交流会
9	1 日 開設記念行事、12～13 日 敬老会
11	1 日～適時 紅葉鑑賞会
12	14 日 クリスマス会、28 日餅つき大会
1	1 日～適時 初詣
2	3 日 節分豆まき

7. クラブ活動の状況

クラブ活動指導員(ボランティア)と提携し、定期的な活動を行った。

内 容	指導員数	年間回数	延べ参加人数
カ ラ オ ケ	1	48	1,175
カラオケ体操	2	26	953
映 画 鑑 賞		38	771
書 道 教 室	1	32	492
大 正 琴	4	11	434
詩 吟 教 室	1	14	421
語り手の会	1	2	63

8. 会議開催の状況

●リーダー会議

開催時期：毎月第2月曜日を予定

出席者：施設長、事務長、介護長代理、ユニットリーダー、ショートステイリーダー、
デイサービスリーダー、看護師リーダー、営繕リーダー、管理栄養士、
機能訓練指導員代表、生活相談員、施設ケアマネジャー、事務員

開催日	主 な 議 題
4 月 8 日	・リーダー抱負発表 ・超過勤務申請書の手続および提出の規程について ・勉強会参加における取決めについて ・地域交流スペースでの見守り体制について ・ユニット調理、選択メニューの取決めについて ・教養娯楽費の規程について ・全体会議の出席について
5 月 13 日	・夜間緊急連絡マニュアルの規程について ・新職員フォローアップについて ・委員長会議議事録の閲覧確認について ・教養娯楽費、預かり金規程の再確認について ・車椅子の破損原因について
6 月 10 日	・カーデックスの修理について ・白雪で行われる介護福祉士勉強会について ・須走中学校福祉体験について ・ロッキーイワタの訪問販売について ・ユニット調理の取り決めについての確認 ・不在者投票について
7 月 8 日	・夏期休暇取得の規程確認について ・外出行事の取り決めについて ・空調調整の取決めについて ・不在者投票の再確認
8 月 19 日	・業務改善の提案について ・おむつ等の物品使用の取り決めについて ・ヒヤリはっと、介護事故の発生について ・夏祭りの開催について ・車椅子の点検、清掃について ・汚物室への汚物の出し方について
9 月 9 日	・前期賞与に関わるヒアリングについて ・外部講師による勉強会の打合せについて
10 月 15 日	・御殿場市介護福祉課職員の見学について ・超過勤務整理簿の改変について ・県の実地指導について ・浄化槽への不溶物流入について ・厨房の直営化について

開催日	主 な 議 題
11 月 11 日	・厨房の直営化について再確認 ・県の実地指導の結果について ・博友会忘年会開催事項について ・施設ワックスがけについて
12 月 9 日	・ヒヤリはつと用紙の変更について ・勉強会、全体会議等の出席率低迷について
1 月 14 日	・勉強会、全体会議等の出席についての再確認 ・口腔ケアの実施実態について ・事故報告書の掲示について ・利用者、入居者の生活風景の撮影につて ・修理願書の提出規程の徹底について ・シーツ交換後のブレーキかけ忘れについて
2 月 10 日	・教養娯楽費、預かり金の年度末処理について ・ユニットリーダー登用試験について ・後期賞与とヒアリングについて ・次年度予算案の提出につて ・勤務表作成時の注意事項につて ・ユニットの目標作成について
3 月 10 日	・来年度に向けてのユニット引き継ぎについて ・後期ヒアリング再確認 ・浄化槽の不溶物の再度報告 ・来年度に向けた入居者のADL確認について ・大雪対応マニュアルについて ・ユニット職員異動について

●ユニット会議

開催時期：各ユニット月 1 回

出席者：施設長、介護長代理、各ユニット職員、看護師、機能訓練指導員、生活相談員、施設ケアマネジャー、管理栄養士

主な議題：利用者の介護支援、生活の質の向上などを目的に、他職種の意見を参考にしながら、更なるケアの充実に向けて会議を開催した。

9. 外部研修参加の状況

外部研修の内容については、全体会議や勉強会にて報告を行い、資料については回覧を行った。

月 日	内 容	職 種	人数
5 月 13 日	介護支援専門員連絡協議会	介護支援専門員	1
5 月 22 日	静岡県老施協定例総会	施設長	1
5 月 23 日	御殿場市衛生講習会	管理栄養士	1
5 月 26～27 日	静岡県作業療法学会	作業療法士 施設長(作業療法士)	1 1
5 月 29 日	居宅介護支援事業意見交換会	生活相談員 施設長	1 1
6 月 11 日	接遇マナー研修会	生活相談員	1
6 月 12 日	静岡県老施協議会	施設長	1
6 月 13 日	静岡県ふじのくに型障害福祉サービス事業説明会	施設長	1
6 月 28 日	御殿場市生活相談員研修会	生活相談員	1
7 月 30 日	静岡県高齢者福祉研究大会	理学療法士 介護職員	1 3
8 月 29 日	御殿場市給食協講演会	管理栄養士	1

月 日	内 容	職 種	人数
10 月 15 日	静岡県介護力向上研修会	介護職員 理学療法士	2 1
10 月 21 日	静岡県苦情解決研修会	生活相談員	2
11 月 16 日	感染対策セミナー	看護師 介護職員	1 1
12 月 14 日	現場で活用できる医学知識研修会	介護職員 作業療法士 生活相談員	2 1 1
1 月 23 日	看取り介護実践フォーラム	介護職員	1
1 月 25 日	静岡県福祉避難所研修会	営繕 理学療法士	1 1
2 月 24 日	高齢者の転倒予防講座	介護職員	1
2 月 26 日	成年後見制度推進シンポジウム	生活相談員	1
3 月 2 日	ターミナルケア講習会	看護師	1
3 月 7 日	福祉・医療専門職向けスキルアップ講座	介護職員	2

10. 委員会事業報告

毎月1回又は2回、各委員会メンバーにより委員会を開催し、委員会の運営に従事した。加えて抑制・事故対策委員会には特養とケアハウスの両施設長が毎回参加し、委員長と共に委員会の運営指揮に当たった。また他の委員会においても、委員長が必要性を認める場合は、施設長が委員会に参画した。

	活動目的	活動内容	反省及び課題
広 報	すずらんの話題を、すずらん新聞やグループ情報誌を通し、利用者やご家族、職員及び、地域の高型に提供する。	グループや社協との連携・情報交換(アブニール・納涼祭のポスター作成等)を行ったり、すずらん新聞の月1回の定期発行を行った。	- 各ユニットの紹介が間に合わなかった為、各ユニットに協力を仰ぎ紹介していけば良かった。 - 新聞の作成者が偏ってしまった為、まんべんなく各委員に回していくべき。 - 新聞作成者以外はその月に全く関わることが無かった為、皆で毎月作っていきけるようにしたい。
教 育	職員1人1人の資質向上につながるよう毎月の勉強会、ユニット発表等を通じて積極的に働きかけていく。	- 勉強会:毎月、各委員会や外部講師により業務に関わる内容で実施 7月と1月にユニット発表会をパソコン委員会協力の元、開催 - 外部研修:計14件	- 勉強会の出席率向上のため、更なる委員の積極性が求められる。 - 勉強会の曜日や時間帯の見直しが必要なのかもしれない。 - 実務的な勉強会を増やし、スキルアップを目指していきたい。

	活動目的	活動内容	反省及び課題
業務改善	すずらんの全職員が業務の改善に取り組み、サービスの向上、能率の良い業務の実現により、すずらんの活性化を促進する。	1. 日々の改善活動を推し進めるために、前期・後期の強化月間を廃止し、毎月業務改善を受け付ける事とした。 ・毎月の委員会で各ユニットの業務改善を発表、内容を検討することで、メンバーのスキルアップ並びに担当ユニットへの水平展開を図ることができた。 ・改善活動の啓蒙としてポスター作成、各ユニットに掲示した。 ・通用口に各ユニットの改善提案提出件数をグラフにして掲示した。 ・平成 25 年度提出件数 65 件 2. 審査会、褒賞式の開催 ・上期 38 件中 3 級 1 件 努力賞 18 件 ・下期 20 件中 3 級 2 件 努力賞 14 件 ・下期審査会以降の提案提出 7 件は次年度審査へ繰越し	1. 委員会出席率が低かった。 ・業務のため出席できない→翌月の勤務表作成時にリーダーに配慮してもらう。 2. ユニットにより提出件数に差があった。 ・周囲への働きかけが足りなかった。 ・委員の欠席が目立つユニットは件数が少ない。 3. 提案内容のレベルが低いものが多かった。 ・何を書いて良いのか分からない、記入の仕方が分からない。 →教育により委員会メンバーの理解を深める。
抑制禁止 ・ 事故対策	介護事故を防止し、安全でかつ適切に質の高い介護を提供する体制を確立する。また、安全な介護の提供により、利用者様との信頼関係を築き、紛争の防止に努める。KYT・スピーチロック教育。	・ヒヤリ・はっと、事故報告の集計とアセスメント ・勉強会年2回開催 ※スピーチロックについて ※KYT について ・緊急の事故対策会議開催	・新ユニット編成後、転倒・誤薬の事故が増加したが、少しずつ減少している。 ・事故が起こった後に緊急の事故対策会議を開催し、原因追求、それに対する対策を立てているが、その対策が効果的に行われているのか、継続して実施されているのか確認が中々行えていなかったもので、来年度は対策に対する確認を行っていきたい。 ・ヒヤリ・はっと用紙を今年になり変更し、事故とヒヤリ・はっとの区別が行えるようになってきた。まだ、3 か月程しか実施していない為今後見直しを行っていかねばならない。

	活動目的	活動内容	反省及び課題
行事計画	毎月の行事を通じて、利用者様に季節感を感じて頂き、日々の生活の中での張り合いや楽しむ機会を提供し、施設での生活を楽しんでいた。また、地域との交流を行い、地域住民との輪を広める。	4月 花見 5月 つつじ鑑賞 6月 バーベキュー 7月 七夕園児との交流 8月 納涼祭 9月 敬老会、開設記念 10月 軽音楽会 11月 紅葉鑑賞 12月 クリスマス会 もちつき大会 2月 豆まき	・行事計画の取り掛かりが遅くなり、伝達や準備が直前になってしまった。 ・行事職員・施設職員の行事に対する意識や協力性が全体的に低く、一部スタッフの負担になってしまった。 ・委員会を忘れていた為、出席率が悪かった。 課題 ・毎月の行事の反省はもちろんだが、まず委員会の出席率が悪く、話し合いにならない。 ・委員長・委員会スタッフがリーダー会議に出席し、委員会日時を伝え、勤務調整をしてもらう。また今後の行事日程を伝える。協力性についても同様にリーダー会議、全体会議で行事の参加を呼び掛けていく。
感染対策	・施設内感染症予防の計画・立案 ・教育、研修必要な措置の実施	・勉強会(食中毒・インフルエンザ・ノロウイルス) ・ポスター作成(食中毒・インフルエンザ・ノロウイルス) ・ユニット内物品チェック、手洗い指導 ・職員感染症意識アンケート ・食中毒対策調査 ・感染対策用品の管理 ・外部セミナーの参加	反省 ・施設内でインフルエンザが流行してしまった。⇒発生以後の対応方法(隔離を含めた)を職員全体にもっと周知徹底を促す。休日・生活態度を見直し、しっかり予防をするように促す。地域での流行情報を早めに確認する。こまめな手洗い、うがい、消毒をする。必ずマスクをするように促す。 ・ユニット内物品チェックをし、マスク・消毒液などの設置を声かけしたが、その後補充、設置されていないユニットがあった⇒職員全体に感染予防に対する意識をもっと高めていく必要がある。チェックしてもらえるようにこまめに声掛けを行う(流行時期以外にも)。チェックリストやマニュアルを作成する。 課題 ・感染症予防について職員全体の意識がまだ低いので高めていけるようにしていきたい。 ・リスクが高いため自分自身を守る為にも感染予防がとても大切だと再確認していけるような活動をしていきたい。

	活動目的	活動内容	反省及び課題
給 食	①利用者給食の内容充実を図る ②選択メニューやユニット調理を充実させ、喫食者の満足度向上につなげる	<定例委員会にて> ・口腔ケア・摂食嚥下に関する勉強会（歯科・大庭先生） ・実施献立の反省・検討 ・ユニット調理メニュー考案・検討 ・誕生日献立メニュー考案・検討 <その他の活動> ・「すずらん食堂だより」の作成・発行（月 1 回）⇒挨拶文およびフリーテーマは担当制 ・5 月嗜好調査の実施 ・2～3 月選択メニュー実施状況調査の実施	・口腔ケア・摂食・嚥下の勉強会については年間計画が不十分であった。 ・職員に口腔ケアの知識、必要性が浸透していないと感じる。 ・嗜好調査は管理栄養士ばかりでなく担当を割振り実施すればよかった。 ・ユニット調理メニューのマンネリ化。 ・誕生日献立の検討では積極的な提案・発言が少なかった。 ・利用者目線での話し合いの場が持てたことは良かった。 ・次年度以降、今以上に利用者にとって食べやすい食事（食形態や使用食材、切り方等）について積極的な議論をしていきたい。 ・選択メニュー実施状況調査の結果を次年度の選択メニューへ反映し、内容の充実化や実施方法の見直しを行っていきたい。
安全衛生	労働安全法に基づき、職場における職員の安全と健康を保持し、快適な作業環境の形成を促進する。	・安全衛生管理点検表による定期的点検 ・利用者の水分摂取月間の設定 ・職員休憩場所周知 ・健康診断の実施 ・職員健康管理の取り組み ・光熱費削減活動 ・安全運転の呼びかけ	職員の腰痛予防の勉強会実施や、職員の喫煙マナーへの取り組みが不十分であった。また委員の出席率の低迷について、本人の意識、勤務作成上の配慮が重要である。
看 取 り	看取り介護・看護を理解し、看取りに向けての準備・体制を整える。	・看取りの基礎学習のため、DVD 鑑賞 ・外部研修で看取り学習	・施設での看取り方針や方向性を明確に打ち出すことにより、具体的な行動計画に反映する。 ・すずらんで看取りが出来るよう施設長、職員と協同し体制を整えていく。
P C	・パソコンの使用方法を伝達し、ユニット発表の質の向上の一助にする ・ワード、エクセル、パワーポイントが使用できるように職員のスキルアップの手伝い	・月 2 回 office (word・excel) の講習会開催 ・ユニット発表での powerpoint の作成の手助けをする ・ユニット発表の開催を教育委員会とともに行う	・月 2 回の講習会が周知が少なく参加者が少なかった。来年度は各ユニットへの連絡を多くし、いつどこでやるかを分けるようにしたい。 ・具体的に「〇〇表の作成について」等にして職員のスキルアップに協力していきたい。

	活動目的	活動内容	反省及び課題
防 災	・災害等に依る人的災害の予防と自然災害時（地震等）の救助および被害の軽減を図る。 ・主に日常生活のいろいろな場面を想定して訓練を行う。 ・防災用具等の使用方法と効果を確認する。	・平成25年4月～平成26年3月まで防災委員会1回/月 実施 ・5月9日 消火器・消火栓を設置配置図を委員で全館点検実施 ・5月20日特養棟非常階段・螺旋滑り台を使用した避難・誘導訓練 20名参加 ・6月24日ケアハウス棟の非常用螺旋滑り台を使用した避難・誘導訓練 16名参加 ・緊急連絡網を使用した夜間での通報訓練80名 消火器取扱い訓練 ・8月30日消火散水栓の取り扱い及び放水訓練 ・10月16～31日 消防署へ出向き、総合防災訓練3回事前打ち合わせ。消防署の指導に基づき、事前訓練3回実施 ・11月1日 総合防災訓練「社会福祉施設防災の日」 508名参加。情報伝達訓練・消防設備の操作及び消火訓練（消火器・放水栓訓練）、応急対策訓練（救護所での処置）・各階ベランダへの避難誘導訓練 ・2月25日消火散水栓の取り扱い及び放水訓練 20名参加 ・3月17日緊急連絡網を使用した夜間での通報訓練 109名参加（有事を想定）	反省点 ・委員会の出席率が、良くなかった。 ・防災訓練の参加者が少なく、同じ顔ぶれだった。 ・最新の緊急連絡網の把握が遅れた。 ・避難マニュアルのようなものが無かった。 問題点 ・防災訓練の内容の充実（消防本部予防課主催）を図る。 ・防災備品の充実を図る（施設・ユニット毎） ・職員をはじめ利用者様の防災意識への向上を図る。 ・防災訓練へ出席を促す為に日時・声かけを実施する。 ・降雪時等のマニュアルの作成検討。
飼育 ・ 園芸	施設内での利用者の生活の中に動植物とのふれあいや接する機会を設けていく	・委員会活動の土台作り ・各ユニットにプランターを設け、植物を育てる ・ケア棟では野菜を育てた ・ボランティアの受け入れ	・年間を通し活動があいまいであった。 ・利用者参加型の活動が少ない。次年度はクラブ活動的な事を行っていく ・園芸・農耕スペースを設けていきたい。 ・アニマルセラピー的な活動を委員会の中で1から考え、ボランティア等含め行いたい。

以上